

長久手市の高齢者の状況

1 人口の現状

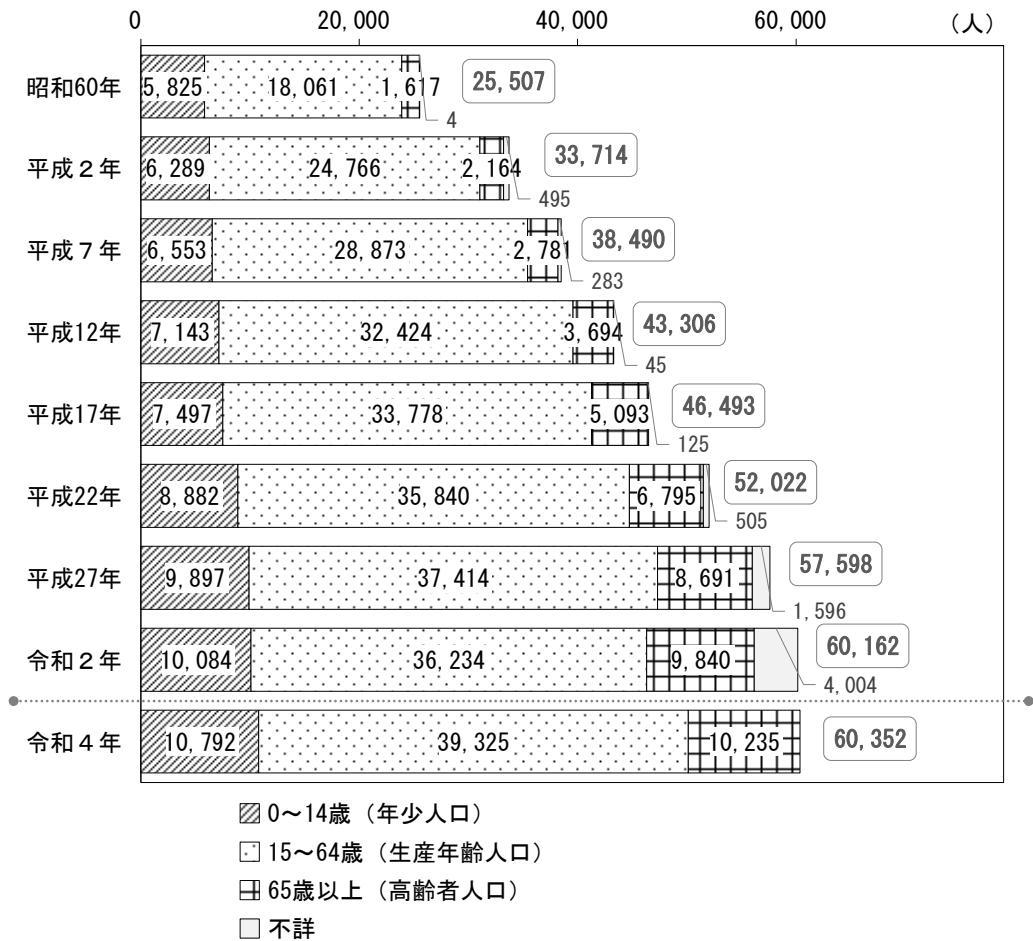
(1) 人口の推移

本市の総人口は、令和4年3月31日現在60,352人です。

国勢調査により昭和60年から令和2年の人口の推移をみると、右肩上がりに増加しています。

年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、高齢者人口（65歳以上）の年齢3区分で見ると、高齢者人口は大幅に増加し続けており、昭和60年から令和2年の35年間に8,223人増加し、6倍以上となっています。

図表1 人口の推移



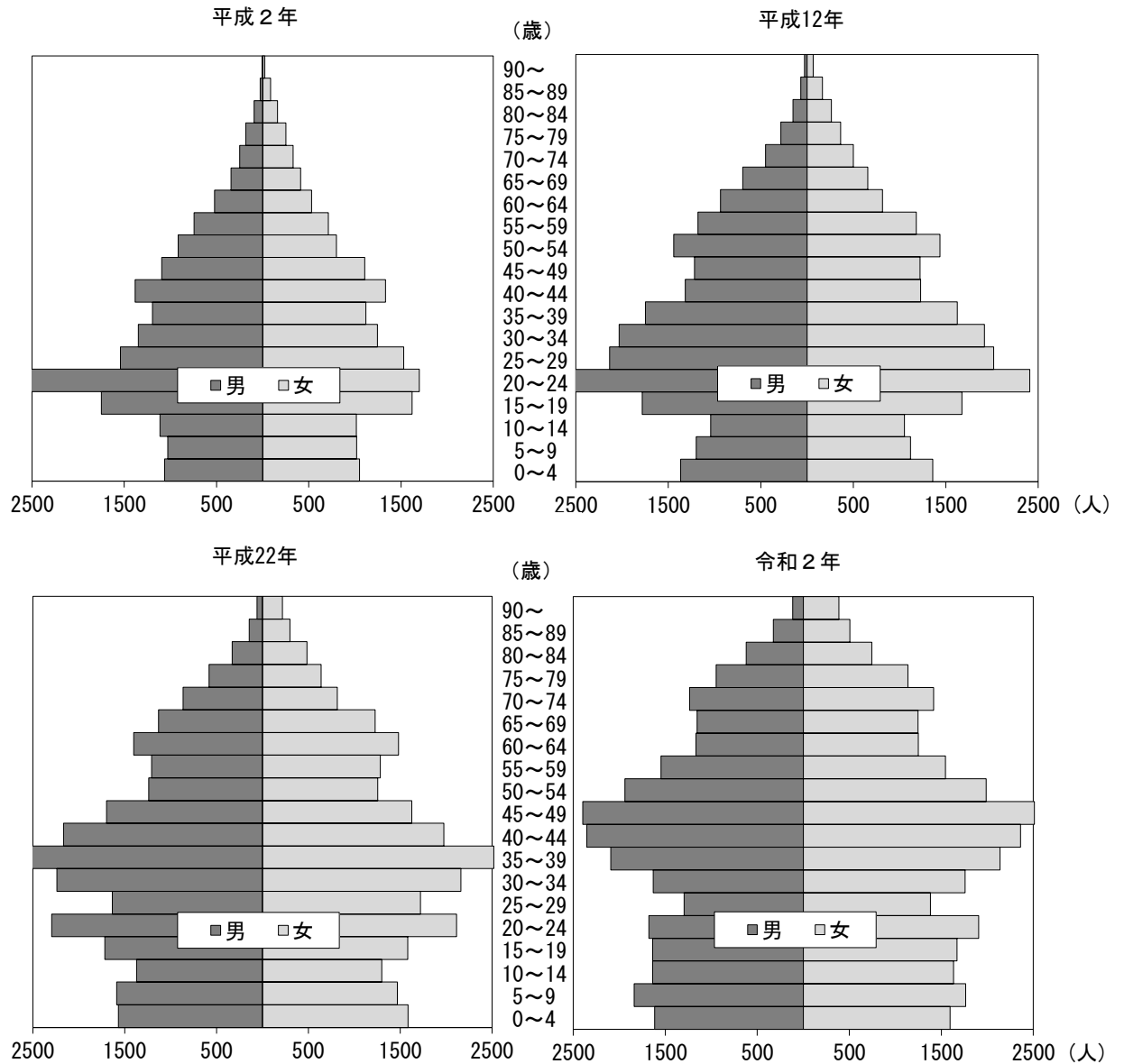
注：総人口は年齢不詳含む

資料：令和2年までは「国勢調査」、(令和4年は「住民基本台帳」(3月31日)

(2) 人口ピラミッド

平成2年から令和2年までの男女別5歳年齢階級別人口（人口ピラミッド）の推移を10年ごとにみると、人口の増加に伴い、ピラミッド全体が大きくなっていますが、団塊世代およびその子ども世代を含む年齢層の膨らみが上部に移動するとともに長寿化の進展により、底部に対し頭部が大きな形状に変わってきています。

図表2 人口ピラミッド



資料：国勢調査

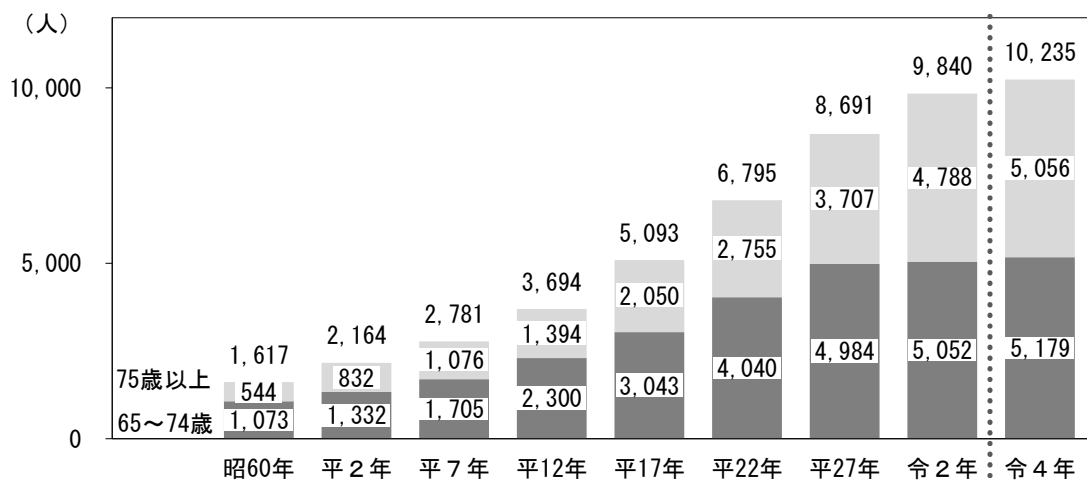
(3) 高齢者人口の推移

本市の高齢者人口は令和4年3月31日現在、10,235人です。65～74歳の前期高齢者は5,179人、75歳以上の後期高齢者は5,056人と前期高齢者が後期高齢者をわずかに上回っています。

国勢調査の結果で、昭和60年～令和2年の推移をみると、65～74歳が3,979人の増加で4.7倍、75歳以上が4,244人の増加で8.8倍と、特に介護リスクの高い75歳以上が著しく増加しています（図表3）。

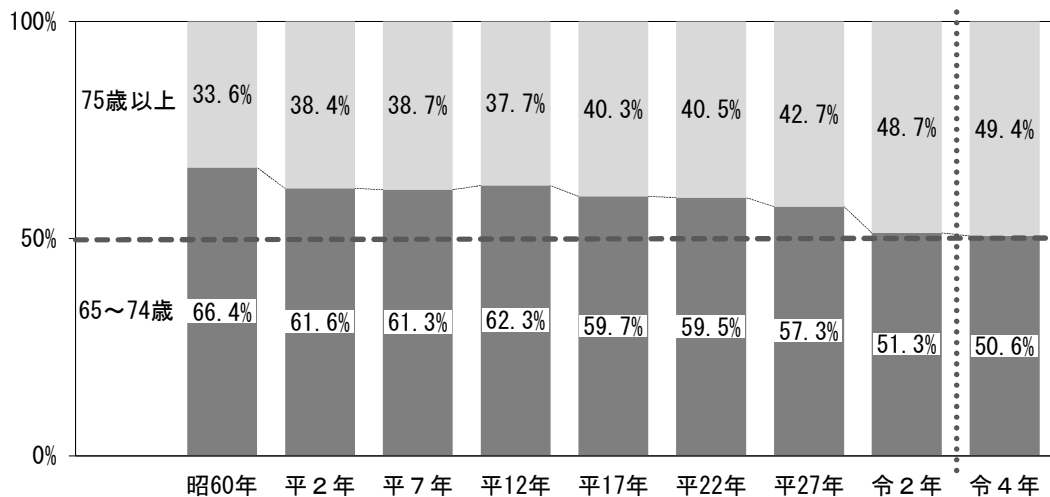
65～74歳人口と75歳以上人口の構成比率の推移をみると、長寿化の進展により、75歳以上の比率が上昇し、65～74歳の比率が低下する傾向にあります（図表4）。

図表3 高齢者人口の推移



資料：令和2年までは「国勢調査」、（令和4年は「住民基本台帳」（3月31日）

図表4 65～74歳と75歳以上人口の構成比の推移



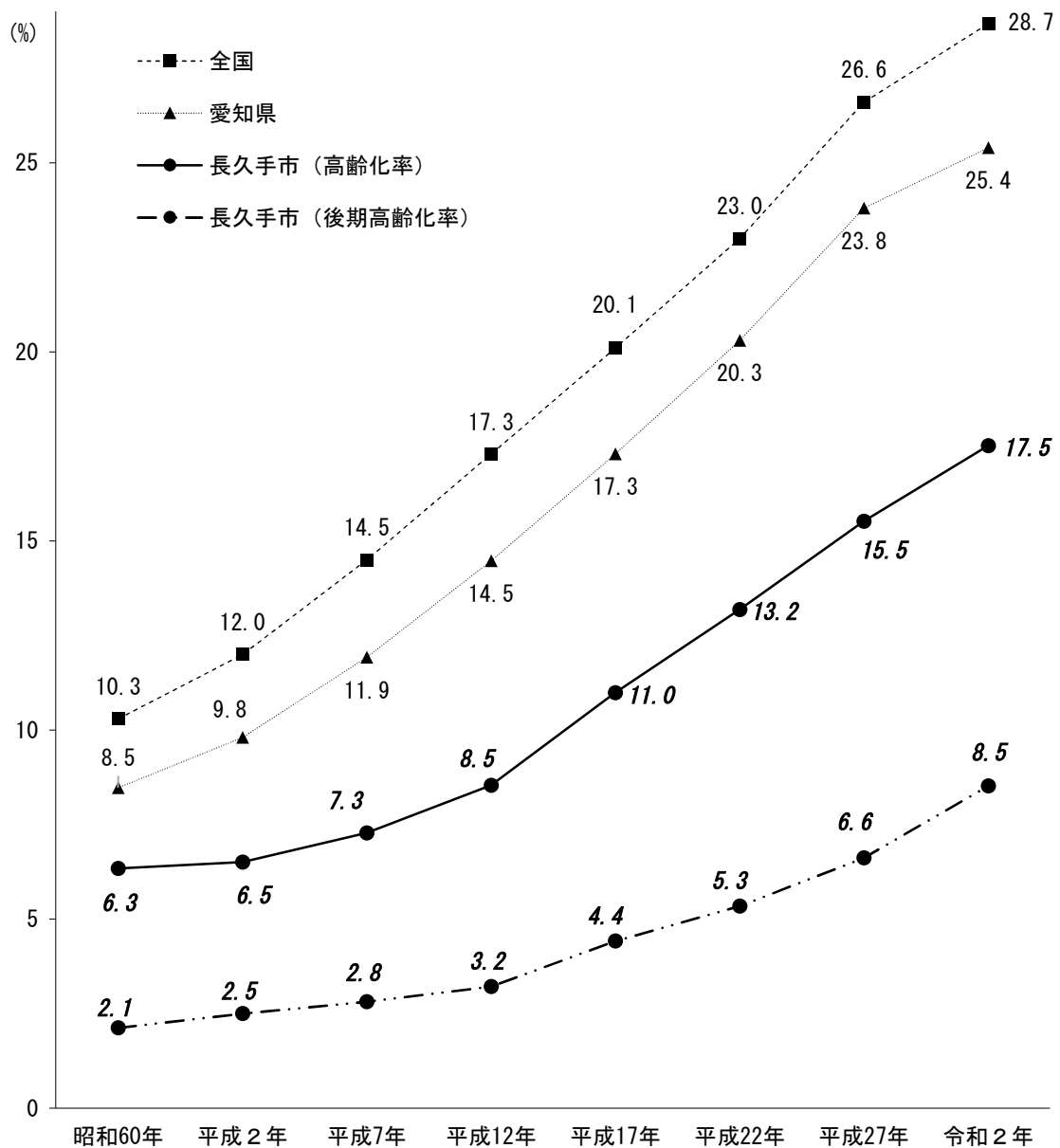
資料：令和2年までは「国勢調査」、（令和4年は「住民基本台帳」（3月31日）

(4) 高齢化率の推移

国勢調査により本市の高齢化率をみると、令和2年10月1日現在で17.5%です。全国および愛知県と比較すると、全国を11.2ポイント、県を7.9ポイント下回っていますが、右肩上がりに上昇を続けています。

本市の75歳以上の人口比率である後期高齢化率も、高齢化率と同様に上昇を続けています。

図表5 高齢化率の推移



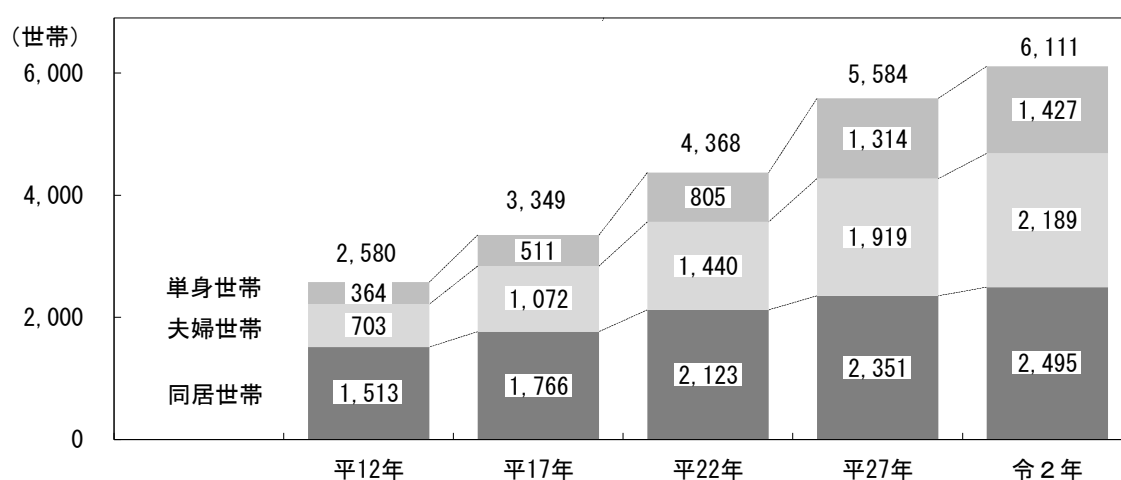
資料：国勢調査

2 高齢者のいる世帯の現状

本市の高齢者のいる世帯は、令和2年の国勢調査によると6,111世帯となっており、平成12年から20年間で3,531世帯増加し2.4倍になっています。世帯類型別にみると、高齢夫婦世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯）は1,486世帯増加し3.1倍、高齢単身世帯は1,063世帯増加し3.9倍になっています（図表6）。

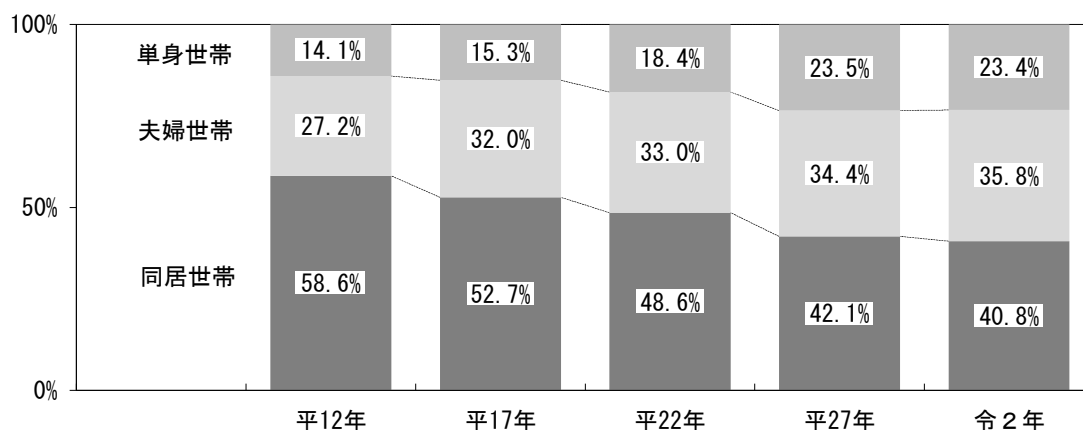
比率で見ると、高齢夫婦世帯および高齢単身世帯が高くなる一方、高齢者以外の家族との同居世帯は低下しています（図表7）。

図表6 高齢者のいる世帯の推移



資料：国勢調査

図表7 高齢者のいる世帯の類型割合の推移



資料：国勢調査

3 要支援・要介護認定者の現状

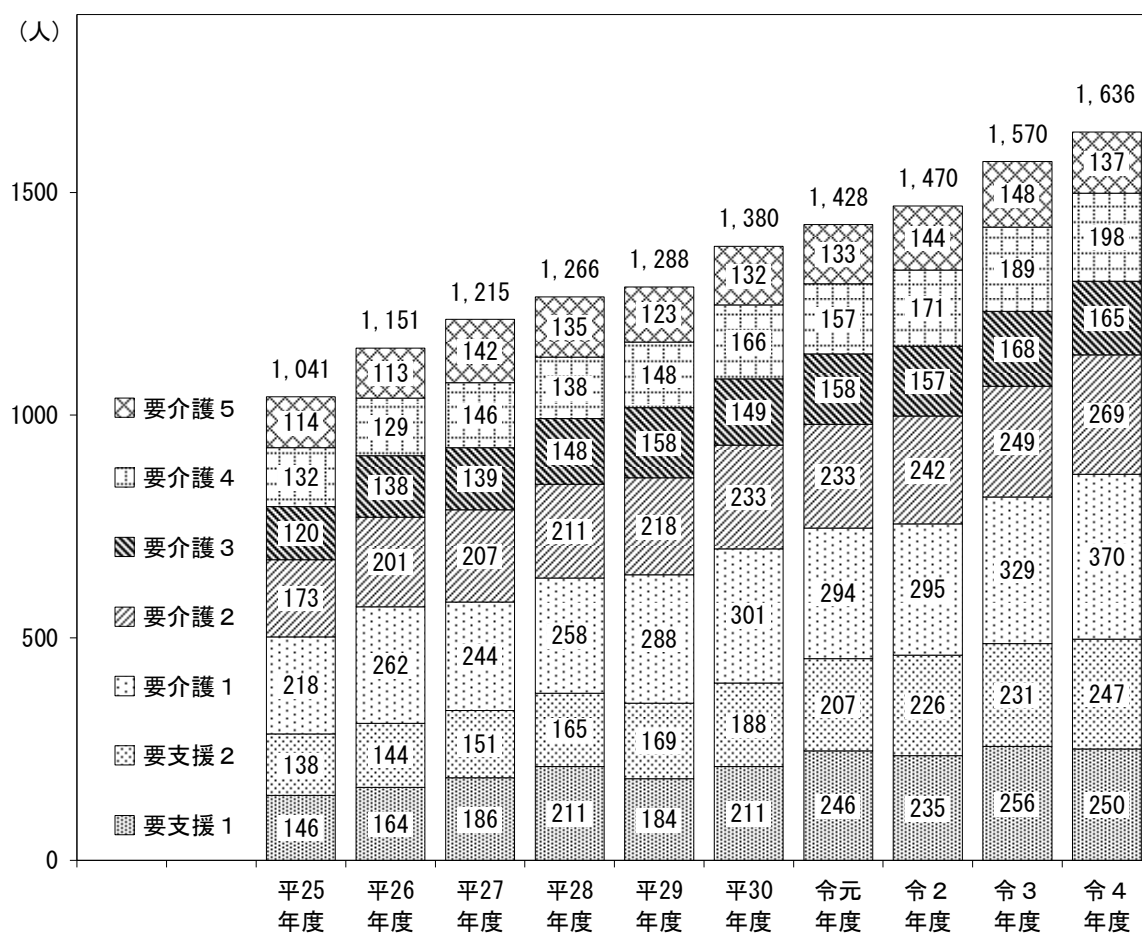
(1) 要支援・要介護認定者数の推移

「介護保険事業状況報告 月報」(厚生労働省)によると、令和4年9月末現在、本市の要支援・要介護認定者数は1,636人です。平成25年度から令和4年度までの9年間で600人弱増加しています(図表8)。

令和4年9月末現在の要介護度別の認定者数と認定率をみると、65歳以上の第1号被保険者の認定者は1,598人、第1号被保険者の15.5%にあたります。65歳未満の第2号被保険者は38人です。

なお、75歳以上の認定者の割合は27.6%と、75歳以上の4人に1人以上が認定者となっています。さらに85歳以上では58.6%と、半数以上が認定者となっています(図表9)。

図表8 認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告(各年度9月末)

図表9 要支援・要介護認定者数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	
第1号被保険者	245	242	359	263	163	193	133	1,598	
	2.4%	2.4%	3.5%	2.6%	1.6%	1.9%	1.3%	15.5%	
	65~74歳	29	27	24	34	18	21	15	168
	0.6%	0.5%	0.5%	0.7%	0.4%	0.4%	0.3%	3.3%	
75歳以上	216	215	335	229	145	172	118	1,430	
	4.2%	4.1%	6.5%	4.4%	2.8%	3.3%	2.3%	27.6%	
85歳以上	107	125	204	139	99	115	76	865	
	7.2%	8.5%	13.8%	9.4%	6.7%	7.8%	5.1%	58.6%	
第2号被保険者	5	5	11	6	2	5	4	38	
計	250	247	370	269	165	198	137	1,636	

注：下段は各人口に対する割合

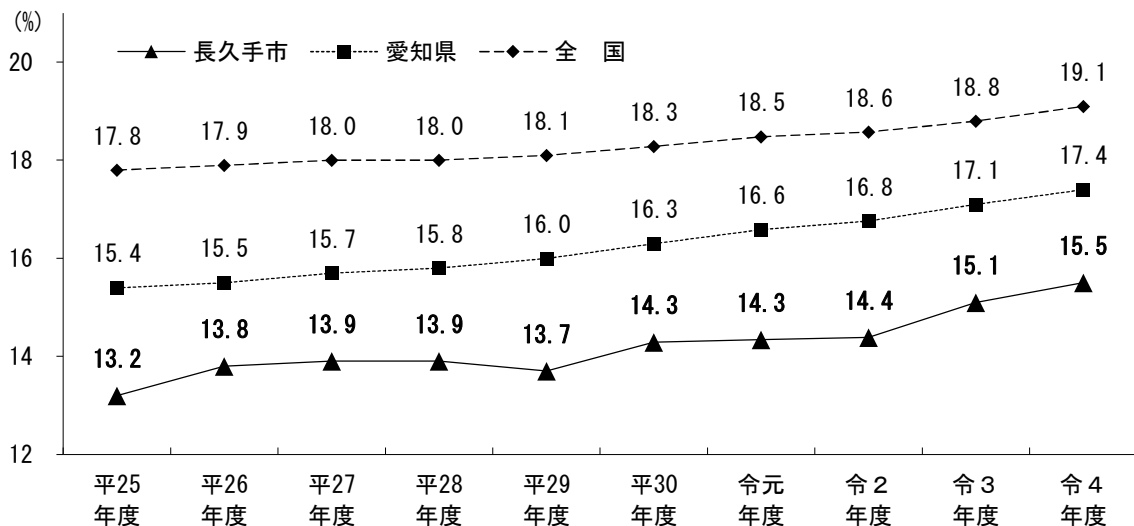
(第1号被保険者数=10,292人、65~74歳=5,111人、75歳以上=5,181人(うち85歳以上=1,477))

資料：介護保険事業状況報告(令和4年9月末)

(2) 要支援・要介護認定率の推移

第1号被保険者数に対する65歳以上の認定者数の割合(認定率)の推移をみると、本市は平成29年度に一旦低下しましたが、平成30年度から再び上昇に転じています。令和4年9月末現在、15.5%で、全国より3.6ポイント、愛知県より1.9ポイント低い率となっていますが、その差は年々狭くなってきています。

図表10 要支援・要介護認定率の推移



資料：介護保険事業状況報告(各年度9月末)